



2025 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 ダイナミックマッププラットフォーム株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 吉 村 修 一
(コード番号：336A 東証グロース市場)
問 合 せ 先 執 行 役 員 山 田 浩 司
(TEL. 03-6459-3445)

新千歳空港にて、高精度 3 次元地図データを応用した除雪支援システム「SRSS」を 航空機のプッシュバック時のガイダンスに活用する実証実験を開始

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO: 吉村 修一、以下「当社」)のグループ会社・ダイナミックマッププラットフォーム Axyz(本社: 東京都渋谷区、代表取締役社長: 雨谷広道、以下「Axyz」)は、株式会社 JAL グランドサービス(本社: 東京都大田区、代表取締役社長: 上島 治、以下「JAL グランドサービス」)とともに、新千歳空港にて、高精度 3 次元地図データを応用した Axyz の除雪支援システム「SRSS」を、航空機のプッシュバック時のガイダンスに活用する実証実験を開始しました。



プッシュバック業務イメージ

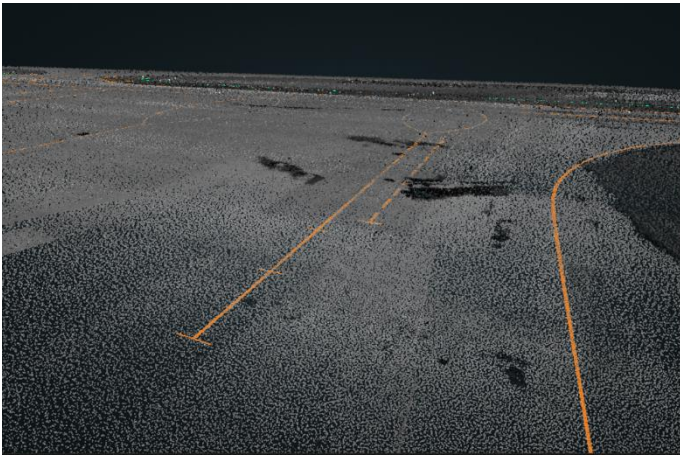
■本実証実験の背景

航空機は自走による後退ができないため、出発の準備が整った航空機が滑走路に向かう際は、トーイングカーという専用車が航空機を誘導路まで押し出していく「プッシュバック」という作業が必要です。

プッシュバックは空港における日常的な作業でありながら、常に細心の注意と熟練した技術、そして関係者間の円滑な連携が求められる、非常に難易度の高い作業です。特に降雪や雨天などの視界不良時は航空機が通るべきルートの視認が難しく、他の航空機や地上設備との接触リスクを避けるため、トーイングカー運転手にはより慎重で高度な運転操作が求められます。

■本実証実験の内容

Axyz が提供する除雪支援システム「SRSS」は、路肩縁や道路上の構造物など雪で埋まった道路の情報が収載される高精度 3 次元地図データに、除雪車の高精度自己位置情報を投影することでガイダンスを行うものです。本実証実験では、SRSS を除雪ではなく、トーイングカーによるプッシュバック時のガイダンスに使用します。対象エリア内の高精度 3 次元地図データを作製し、SRSS 上のマップを参考に運転することで安全に作業を行えるかの検証を行います。なお、実証実験の期間は 1 年間で、安全性向上への高い効果が期待される積雪や雨天時の視認性向上を中心に検証します。



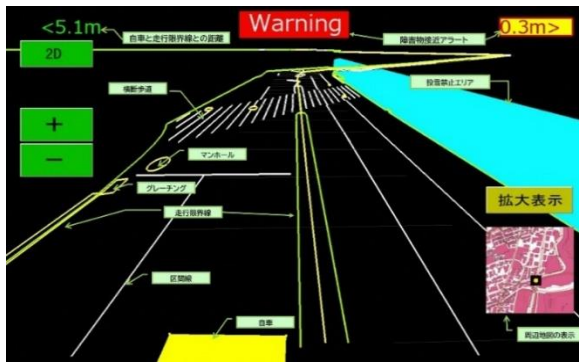
(左)空港内高精度 3 次元地図データイメージ (右)航空機のプッシュバック時の SRSS 使用イメージ

<実証実験概要>

- ・ 期間: 2025 年 1 月 22 日(水)～2026 年 1 月 21 日(水)
- ・ 対象エリア: 新千歳空港内駐機場(エプロン)～誘導路
- ・ 実証内容: 航空機のプッシュバック時のガイダンスとして除雪支援システム「SRSS」を活用することによる安全性向上の検証

<除雪支援システム「SRSS」について>

自動運転車にも利用されている当社の高精度 3 次元地図データと高精度の自己位置推定が可能な「CLAS^{*1}」を活用した「RTK 測位^{*2}」を組み合わせ、Axyz が除雪作業向けにカスタマイズしたサービスです。GNSS 受信機から得られる高精度位置情報により自車位置を把握しながら、雪の下に隠れている路肩やマンホールなどをタブレット上で“見える化”することで、安全かつ円滑な除雪作業をサポートします。 サービス詳細: <https://www.dynamic-maps.co.jp/srss/>



(左)「SRSS」の画面 (右)「SRSS」使用イメージ

※1 CLAS: 準天頂衛星(みちびき)から配信される補強情報。

※2 RTK 測位: GNSS(Global Navigation Satellite System)衛星を利用した測位方法。cm 級の高い精度で位置情報を求めることが可能。

<ダイナミックマッププラットフォーム Axyz 株式会社について>

設立: 2022 年 10 月

本社: 東京都渋谷区

代表者: 雨谷 広道

事業内容: 高精度 3 次元データを活用した新規事業の創出

■本件に関する問い合わせ

ダイナミックマッププラットフォーム株式会社

メール: ir@dynamic-maps.co.jp

HP: <https://www.dynamic-maps.co.jp/>